



30周年企画 ジェンへの応援メッセージ

ジェンをいつも応援していただいている福岡幸雄さんから、メッセージをいただきました。

30年間、永らくご苦勞様でした。海外の災害・紛争による被災者・被害者に手を差し伸べ支援されてきたのみならず、国内の災害による被災者にも復興支援されてきたこと高く評価しています。

ジェンの活動は時により太くなったり、細くなったり、山あり谷ありでしたが、心優しい支援者の方々に支えられ、成功したプロジェクトが多々あります。また支援が継続中のものもあり、今後の活躍を期待しています。

また、ジェンに在籍し支援活動に従事され、その後転職された多くの方がそれぞれの分野で活躍されております。その方々が今もジェンの活動を引き続き支援して頂いていることも大切なことだと思っています。

「継続は力なり」と申します。今後とも引き続き、被災者・被害者により沿った支援活動を続けられることを願っております。

広報ファンドレイジングサポーター 福岡幸雄さん

福岡さん、実際に事務所にいらしてのボランティアを含むこれまでの様々な形でのご支援に加えて、30周年に向けてのメッセージをお送りくださり、本当にありがとうございます。お話にもある通り、山あり谷ありの30周年は心優しい支援者の方々の支えのお蔭で活動を継続でき、感謝で一杯です。

「継続は力なり」とのエールに励まされます。世界にとって価値ある継続の形とは、を考える時、支援の現場の変化を思わざるを得ません。紛争は激化して終わりが見えず災害の規模も数も増大し、支援を必要とする方の数が急増する中、経済の先行きが見通せず寄付が集まりづらい状況で支援を続けるのは容易ではありません。これまで以上に少ない投入でこれまで以上に持続的な効果をもたらす支援活動が求められていると感じています。予測不能な環境下で持続的な効果を目指すという難易度の高い支援活動がこれまで以上に求められていると認識しています。これからも支援者の皆さんと共に歩ませていただけるようお願いするとともに、役職員一同、決意を新たにしていることをお伝えさせていただきます。

心からの感謝を込めて 木山啓子

スタッフの
ひとこと

ジェンで働くようになり、少しは身近になったが、まだまだ現地の大変さを理解しきれていない。写真の笑顔の下の、彼らに起きた理不尽な苦勞を想像するしかない。お腹空いてるよな、学校で友達と遊べないよな、将来不安だよな、とか。もっと理解するにはどうしたらよいのだろう。日本に住む自分の責任と何ができるのか考えつつ、まずは机に向かってやるべき仕事をこなす毎日だ。(管理部 坂入)

※本誌掲載の記事、写真、イラストなどの無断転載は固くお断りいたします。
※QRコードを読み取る際、無料アプリをお使いの方は、アプリによって広告が表示される場合がございます。間違って広告をクリックされないようご注意ください。

封筒に記載されてる住所について

現在のジェンの所在地は差出人選付先に記載されている住所となります。皆さまにはご不便をおかけいたしますが、ご理解願われますようお願い申し上げます。

JEN
Japan Emergency NGO

特定非営利活動法人ジェン(JEN) 東京本部事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂7-5-27-305
TEL: 03-5114-6201 FAX: 03-5114-6202

ホームページ <https://www.jen-npo.org/> Japan.Emergency.Ngo
NPO JEN 検索 @NGO.JEN @ngo.jen

このニュースレターは持続可能な森林管理のもと生産された原料で製造された紙、FSC®認定紙を採用しています。



スクロドで実施された衛生教育の様子



パキスタン東部国境のトルハムに設置された臨時キャンプ(2023年11月当時)



臨時キャンプへの登録を待つ人びとの列(2023年11月当時)



衛生教育で伝えたことを日々実践いただけるよう、最後に石鹸を配布

アフガニスタンへ帰還民緊急支援 クラウドファンディングへのご協力 本当にありがとうございました

2023年10月、パキスタン政府は必要な手続きを経ずに国内に滞在する人びとの強制送還を発表しました。紛争や頻発する干ばつ、大地震、経済制裁などでアフガニスタンから逃れていた約170万人が、政府の方針のため帰還を余儀なくされており、2024年4月半ばまでに55万人以上の帰還民がアフガニスタンに帰還しています。

パキスタンからアフガニスタンに帰還する際、持ち出せる資金は限られています。長くパキスタンで暮らしていた人びとは、アフガニスタンに故郷がない方も多く、これからどうすべきか見込みも立っていない状況だといえます。国境にはアフガニスタン暫定政府と国連機関等による臨時キャンプが設置されましたが、滞ることができるのは一定期間のみで、その後は、アフガニスタン各地への移動を迫られます。

このような厳しい状況にいる人びとを支援するため、ジェンは2023年11月から約2ヶ月間、クラウドファン

ディングを実施しました。皆さまから託していただいたご支援と、ジャパン・プラットフォームの助成金をあわせて、兼ねてから支援活動を実施していたナンガルハル県のうち、特に帰還民が多く流入した4地区(クスクナル、ベスード、カマ、スクロド)に居住する1,557の帰還世帯に、2ヶ月分の食糧配布と衛生教育を行います。

この地域で活動する国連機関や他のNGOと連携し、最も厳しい状況に置かれた人びとに重複なく支援が届くよう基準(妊娠中や授乳中の女性がいる世帯、女性や子ども、障がいのある人が世帯主、世帯人数が10名以上の帰還世帯)を設け、支援先の特定を行いました。5月の初旬から衛生教育と食糧配布を開始し、7月末までに全帰還世帯への配布完了を目指しています。

※本事業は、クラウドファンディングとジャパン・プラットフォームの助成金とジェンの寄付金により実施されています。

クラウドファンディングの終了報告はトップページよりご覧いただけます。



パキスタン 洪水被害を受けた方々への農業支援

初めての収穫 農業でコミュニティの自立を目指す

2022年の大洪水で大きな被害を受けたシンド州ダドゥから、昨年作付けた農作物の収穫報告が届きました。本プロジェクトによる高品質な種子の提供と、現地専門家による現代農法の研修により、小麦は大粒の実をたくさんつけ、野菜はそれまでとの違いが目瞭然なほど収穫量も増加したそうです。小麦だけでなく、栽培期間の短いホウレンソウ

やオクラなどの野菜栽培も始まっており、これにより、現地の人びとの食糧事情が改善し、短期間で現金収入を得ることができるようになります。また、収穫した種子の保存方法を改善することで、将来の被災時の食料不安の解消にもつながります。引き続き、中長期的な視点でのコミュニティ全体の自立を目指した農業支援を行ってまいります。



作付けてから8ヶ月たってもナスが収穫できる



大粒の実を付けた小麦の穂



今まで作付けていた種子(左)と比べても大きく成長しているジェンのからし菜(右)

※本事業は、株式会社センシヨールホールディングスの寄付金とジャパン・プラットフォームからの助成金とジェンへの寄付金により実施しています。

トルコ 南東部地震被災者支援

震災から1年後もまだ続く炊き出し生活 ボランティアスタッフのこころのケアニーズ

2023年2月にトルコ南東部で発生した震災によって甚大な被害を受けたハタイ県では、震災から一年以上たった今も、倒壊した建物の撤去や復興住宅の建設が進んでおらず、多くの被災者が炊き出しに頼る生活を余儀なくされています。被災者自身が震災直後からボランティアとして炊出し施設の運営に関わってコミュニティを支えているケースも多く、スタッフのこころの

ケアのニーズも確認されています。ジェンは、炊き出し施設の運営支援を行うとともに、現地提携団体の心理療法の専門家によるワークショップを定期的に開催することで、トラウマに対する理解や向き合い方、対処方法を伝えています。そして、支援期間が終了した後、施設がコミュニティの人びとを繋ぐ場として自立して運営を継続していくよう、中長期的な収入



炊き出し施設の様子

創出計画の支援も行っています。

※本事業は、ジャパンプラットフォームからの助成金とジェンへの寄付金により実施しています。



スタッフのこころをケアするセッションの様子

新理事紹介

ジェンの 代表理事交代と 新任理事着任の お知らせ



2024年4月3日、任期満了により、代表理事が川北秀人から桑原香苗に交代しました。川北秀人は2001年に理事に就任、2004年から2010年までジェンの代表理事を担い、10年という節目で退任した後、再発防止に向けた組織改革を担うために、2018年から2024年4月まで再びジェンの代表理事を務めました。

新代表理事の桑原香苗は、2022年からジェンの理事を務めてまいりました。また今期より、理事として新たに石川えり、茅野俊幸、山ノ川実夏(50音順)が着任しました。

前代表理事の6年間で強化されたジェンが、新体制の下、継続して世界に価値を提供できるよう、役職員一同微力を尽くします。

今後もジェンへの変わらぬ応援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

役員体制(五十音順)

桑原香苗【新任】

(有)フィールドシフト代表取締役・JANIC 理事

石川えり【新任】

認定NPO法人 難民支援協会(JAR) 代表理事

今井悠介【留任】

公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン 代表理事

木山啓子【留任】

特定非営利活動法人ジェン事務局 局長

齋藤高市【留任】

立正佼成会 大田教会 教会長

山ノ川実夏【新任】

MS&ADインシニアランスグループホールディングス株式会社 サステナビリティ推進部

茅野俊幸【新任】

公益社団法人シャンティ国際ボランティア会 副会長

ジェンからのお知らせ

JENサポーター

月々1,000円から始められる JENサポーター



LINE

ジェンの公式LINEアカウントで最新情報をCHECK!



お友達募集中!

遺贈寄付

遺贈寄付のご相談や資料請求をお待ちしています。

Tel 03-5114-6201 (平日10時-16時)

Mail legacy@jen-npo.org

「遺言によるご寄付」や「相続財産によるご寄付」の資料請求やご相談は、こちらよりお気軽にご連絡ください。

